

## 第4回 Deaf-PCカフェ

いつ：平成19年8月25日(土) / ところ：サウスポット12階

今回のカフェ参加者は28名(一般参加者18名、サポーター8名、当日見学2名)となります。

今回、私は初めてDeaf-PCカフェに参加しました。ビックリしたのは高齢者がいたことです。パソコンでワードとかエクセル等の打ち方を一生懸命勉強している様子を見てすごいなあと思いました。参加者が多くてサポーターの人が足りず、あちこち歩き回り忙しい様子だった。

参加者とサポーターがお互いにコミュニケーションをうまく取れて良かったと思いました。

私は機関紙の編集をしています。聴障だよりを作成するソフトはイラストレーターとフォトショップだけです。私の持っているPCはアップル(Mac)です。一般的に使用する人が少ないです。デザイン(印刷)の関係の会社が多いです。イラストレーターはチラシとかポスターとか色々使います。しかしイラストレーターのソフトは大変高価です。イラストレーターをちょっとやってみたい方がいましたらサポーターに言ってください。Win用もあります。

聴障だよりを読んで(レイアウト・写真を見て)どう思いますか?感想を聞きたかったです。

皆さんも是非参加してみましょ。見学でもいいです。皆と一緒にいれば楽しくなります。参加者とサポーターの皆さん、楽しいDeaf-PCカフェを続けるように頑張ってください。

私は参加して良かったと思いました。ありがとうございました。【静聴協機関紙部長 小泉】

暑さ厳しい中、今回の参加者は過去最高の28名が集まって盛り上がりましたが、一方で課題も多く残しました。

まず参加者へのレンタルPCの割り当てに手間取って開始時間が遅れてしまい、みなさんにご迷惑をおかけしました。

カフェは約2時間やっていますが、時間が足りない、もっとやりたいという皆さんの積極的な要望に応えられるように、3時間に延長することも考えていきたいと思います。

また、同時にサポーターの負担が軽くなるように、参加者が自分で解決方法や操作方法を身につけられるような教え方を考えたい。

回を重ねるごとに、参加者もサポーターも満足できるカフェになれるように工夫していきたいと思います。【斎藤 寛】

Deaf-PCカフェも4回目となり、サポーターも参加者も進行に慣れてきたようです。

ある程度のスキルを持つ人も参加するようになり、ようやくDeaf-PCカフェの目的に近づいたようです。

学んだことをろう協やサークルで生かしてもらえるとサポーター冥利に尽きると思います。

青年部や女性部、ろう協本部でパソコンを使っているけど、もっと効率よく使いこなしたい人にはぜひ参加して下さい。【山本 直樹】

今回は一般参加者が18名と、今までの中で一番多くびっくりしました。

参加者よりサポーターが少なかったために、一人ひとりにみっちり教えることが出来ませんでした。

話しができないままに終わってしまった方もいて、とても残念です。

今までずっと分からなかった事、知らなかった事が「やっとわかった!」時、とても嬉しいですよ。

その感動を沢山のの人に感じてもらえたら、と思います。【杉山 友香】

